

Lesson 18 Triple Stops with Fingers

Lesson 18 指を使ったトリプルストップ

今回はピックの代わりに指で弾くことの利点について語ってみようと思う。

ギターは常にピックで弾くもの…という考え方は捨てて欲しい。

指弾きは僕にとっての“秘密兵器”のようなもので、みんなにもぜひ導入して欲しいね。

以前からやっているトリプルストップを使った3コード Vamp で試してみよう。

-playing(0:38)-

(0:51)

まずは親指と人差し指、中指の3本でやってみよう。

その際、何度も言うけど、右手をブリッジ側の弦の上に添えて不要な弦が鳴ってしまわないようにしてね。

僕の場合、無意識にそうしている。もう長年培ってきたクセのようなものだね。

もう何も考えなくても、右手で無意識にやっているから、左手は自由に動かせる。こんな感じでカウボーイが縄を振り回すようにね（笑）

-playing(1:26)-

(2:03)

是非指だけで弾いてみて！

すぐに慣れるはずさ。

1度に1つの音しか弾けないピックの煩わしさから解放されるだろう。

そして、指だけで弾く場合、こんな感じ(2:24)で手の腹で弦を押さえる感じになるだろう。

(2:34)

こんなのもいいね。(6弦3フレットGを親指で強く弾く)

【注記】

- ・押弦するポイントについて Robben は様々な言い方をしていますが、ここでは「5弦3フレットC」「6弦開放E」などの表記に統一します。
- ・翻訳モノにありがちな読み難さの一因となっている「直訳」を排除した結果、Robben の実際の言葉とは若干違った表現になっている箇所がありますが、読者にとってのストレスのない自然な理解を促すためのものであり、Robben が言わんとしていることはそのままに、大局を損なうことのない翻訳を心がけました。
- ・モードの解説において「○○スケール」と「○○モード」の言葉の使い分けはせず、Robben の言に最大限忠実に訳しながらも、より理解をしやすいように、柔軟にそれぞれを言い換えて訳しているケースもあります。 翻訳 山岸敦